

クラスター爆弾に関する議員フォーラム開催に際してのメッセージ

2008年5月27日

1．オスロ・プロセスのダブリン会議に際しての議員フォーラム開催をお祝い申し上げます。

2．日本では本年4月25日、世界でも珍しい超党派のクラスター爆弾禁止推進議員連盟が設立されました。本議連が設立された契機となったのは、2007年12月5 - 7日のオスロ・プロセスにおけるウィーン会議に先立ち、12月4日に開催されましたクラスター爆弾に関するウィーン会議に向けた議員間フォーラム（Parliamentary Forum on the Eve of the Vienna Conference on Cluster Munitions）に際して、オーストリア議会のB. Prammer下院議長はわが国の河野洋平衆議院議長に招請状を発出し、河野衆議院議長が代表団を国会として派遣したことでした。本議連の会長は河野洋平衆議院議員です。

3．日本は戦後60余年、世界の軍縮・軍備管理の重要性を主張し続けてきた国であり、本議連は、文民に耐え難い被害をもたらすクラスター爆弾の禁止に向けて政府が積極的な役割を果たすことを期待し、その努力を後押しするものです。

4．ダブリン会議に結集したすべての交渉官、議員、市民社会のみなさまが、紛争終結後も未永く無差別な人道被害をもたらすクラスター爆弾の被害と悲劇をなくす決意の下、本会議を成功させるよう最大限の努力をすることを求めます。日本の議員連盟として、世界各国が、そのために必要な強い政治的意思を示すことを期待します。

クラスター爆弾禁止推進議員連盟（会長 河野洋平衆議院議員）